

厚生労働省
群馬労働局発表
平成31年3月29日

【照会先】
群馬労働局労働基準部健康安全課
課長 大村 悦男
課長補佐 飯泉 幸男
産業安全専門官 鈴木 淳
(電話) 027-896-4736

平成31年(1月～2月)の労働災害発生状況

— 死傷者数 206 人・死亡者数 3 人 —

1 労働災害の発生状況

(資料1:「平成31年労働者死傷病報告受理件数表」資料2:「平成31年死亡災害事例」)

群馬労働局管内における平成31年の労働災害による休業4日以上死傷者数は、2月末日時点で206人、そのうち死亡者数は3人となっています。

【災害発生状況の特徴】

- ・死傷者数は36人減少(昨年同期の242人より14.9%減少)
- ・死亡者数は増減なし(昨年同期も3人)
- ・業種別では道路貨物運送業(36人→23人)、製造業(75人→64人)、建設業(25人→14人)等において死傷者数が減少

2 第13次労働災害防止計画の達成に向けた取組

【雇入れ時教育等の徹底】(参考資料:「労働災害が増加しています!!」)

休業4日以上労働災害による死傷者のうち、3割以上を業務経験年数1年以内の労働者が占めています。年度初めは、雇入れ、配置転換等で新たな作業に就く労働者が多く、経験年数が浅い労働者の被災を防止するためには、法定の「雇入れ時教育」「作業内容変更時教育」が事業場で確実に実施されることが重要です。

そのため、雇入れ時教育等の徹底をはじめとした未熟練労働者に関する災害防止対策について重点的に取り組めます。

【エイジアクション100の周知】(参考資料:「エイジアクション100」)

エイジアクションとは、高年齢労働者(50歳以上)の安全と健康確保のための100の取組(エイジアクション)を盛り込んだチェックリストを活用して職場の改善を進めるための「職場改善ツール」です。

高年齢労働者の災害発生状況は、2月末時点で111人(53.9%)、死亡は3人(100%)となっています。

高年齢労働者に配慮した職場環境の改善等を積極的に推進します。

平成31年 労働者死傷病報告受理件数表

資料1

平成31年2月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		10	21	5	20		7	1	64	1	-1
	食料品製造業	4	8	1	5		1		19	17	2
建 設 業		3	5	1	3		2		14	2	-2
	木造家屋等 建築工事業		1		1				2	7	-5
運 輸 交 通 業		7	12	2	3		2	1	27	39	-12
	道路貨物運送業	4	12	1	3		2	1	23	36	-13
林 業		2		2			1	1	6	2	4
小 売 業		5	10	1	3	3	1	1	24	25	-1
社会福祉施設		1	5	1	2		2	1	12	14	-2
接客娯楽業		1	4	1	1	6			13	16	-3
	飲食店		3		1				4	6	-2
上記以外の事業		11	14	3	11	2	2	3	46	46	1
	清掃・と畜業	3	1		4	1		1	10	13	-3
計		40	71	16	43	11	17	8	206	242	-36
前年同期		45	101	17	36	18	18	7	242		
増 減		-2	3		7	-7	-1	1	-36		
		-5	-30	-1							

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の 型別	墜落・転落	3	16	2	10		1	1	33	41	-8
	転倒	11	17	2	7	7	4	4	52	63	-11
	はさまれ・ 巻き込まれ	5	6	5	2		6		24	1	-1
	切れ・こすれ	3	6	1	2				12	37	-13
	動作の反動・ 無理な動作	8	6	1	2		1	1	26	14	-2
起因物別	建設機械等	1	2	1			2		6	2	4
	食品加工用機械			1			1		2	4	-2
	トラック	3	10		6		1	1	21	1	1
外国人の災害	1	6		3	1	1		12	20	1	
建設公共工事の 災害	2	1				1		4	8	4	
									3	1	

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上の労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

平成31年 死亡災害事例（建設業以外）

資料2

平成31年2月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 14時頃 20人	70歳代 男 作業者	雨どい修理のため、脚立を使用して作業していたところ、バックしてきたフォークリフトが脚立に接触し、バランスを崩した被災者が、高さ約3mから墜落した。	農業	墜落、転落	はしご等
2	2月 17時頃 6人	50歳代 男 販売店員	ガソリンスタンド内において、被災者が構内を通行中、洗車機からバックで移動してきた乗用車に激突された。	燃料小売業	激突され	乗用車・バス・バイク
3	2月 9時頃 4人	60歳代 男 運転者	国道上を中型トラックを運転していた被災者が、対向車線へはみ出し、大型トラックと正面衝突した。	道路貨物 運送業	交通事故 (道路)	トラック

労働災害が増加しています!!

被災者のうち新たな作業についてから
3人に1人が1年以内に
 被災しています（被災者の経験年数の内訳）

平成30年（平成31年1月末速報値）に群馬労働局管内で発生した休業4日以上の労働災害による死傷者数（2,318件）を経験年数別にみると、**経験年数1年以内**の死傷者数が685人で全体の**29.6%**を占めています。

さらに経験年数1年以内の内訳をみると、**6か月以内**が**56.1%**を占めています。

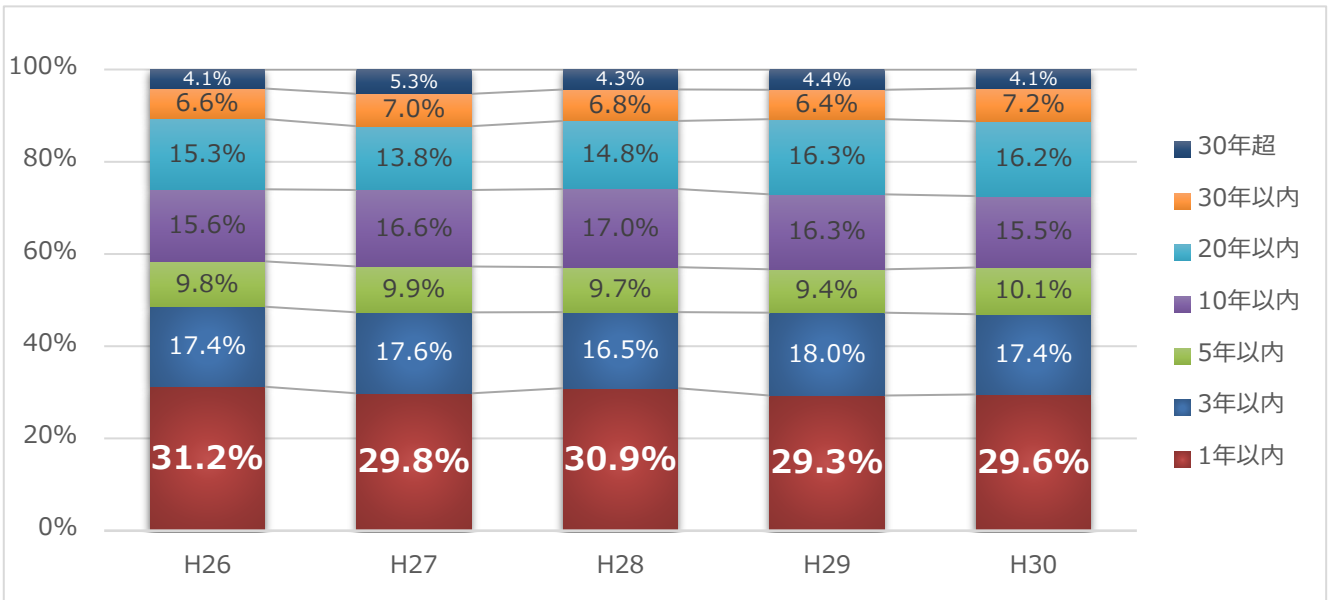


図-1 経験年数別労働災害発生状況割合の年別推移
 資料:労働者死傷病報告(平成30年は平成31年1月末の速報値)

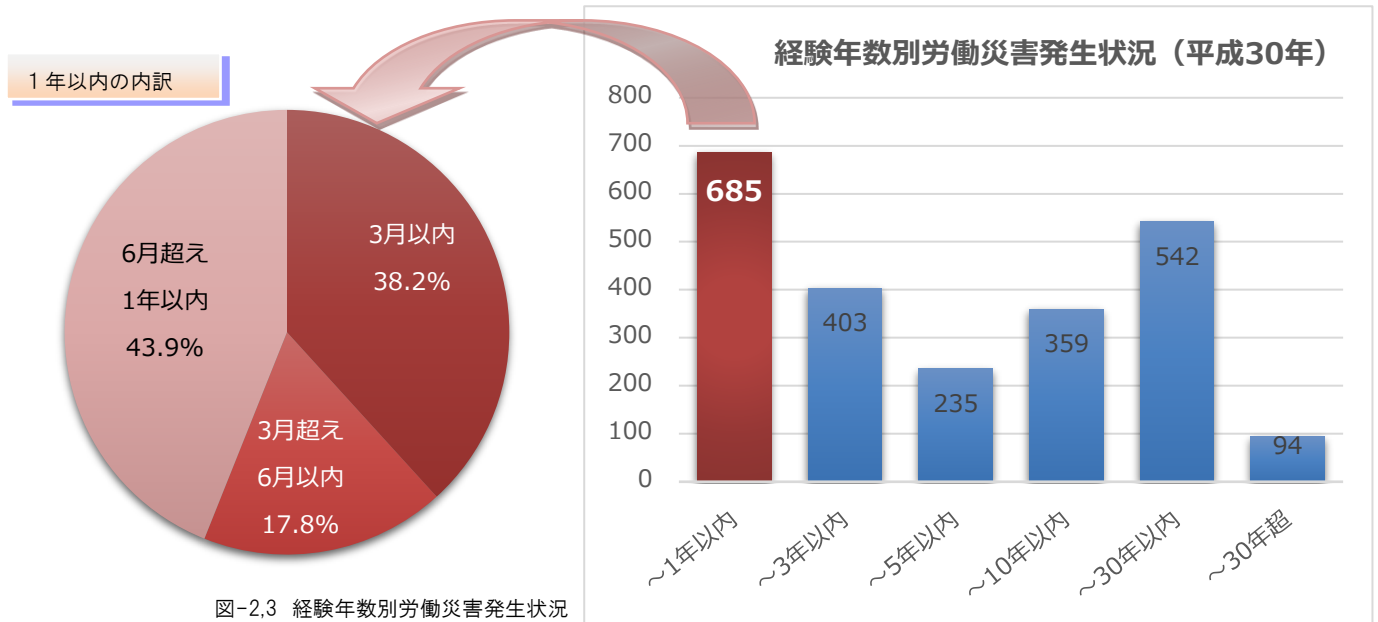


図-2,3 経験年数別労働災害発生状況
 資料:労働者死傷病報告(平成30年(平成31年1月末速報値))

経験年数 1 年以内の労働災害は、製造業と商業で多く発生しています。

事故の型別でみると、「はさまれ・巻き込まれ災害」と「転倒災害」が多く発生しています。

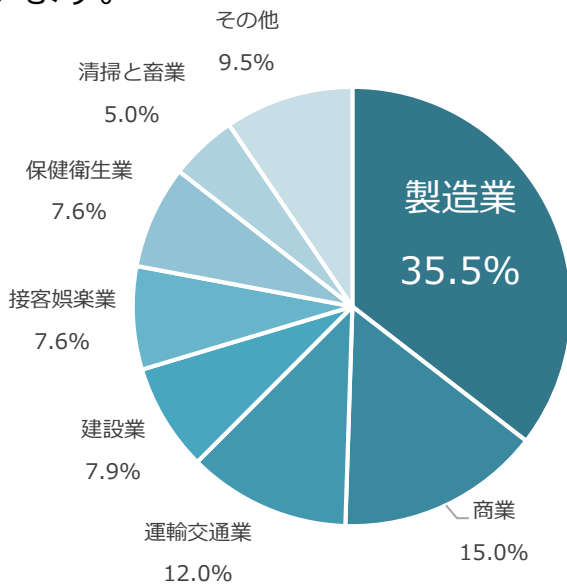


図-4 経験年数 1 年以内の業種別労働災害
資料:労働者死傷病報告(平成 30 年(平成 31 年 1 月末速報値))

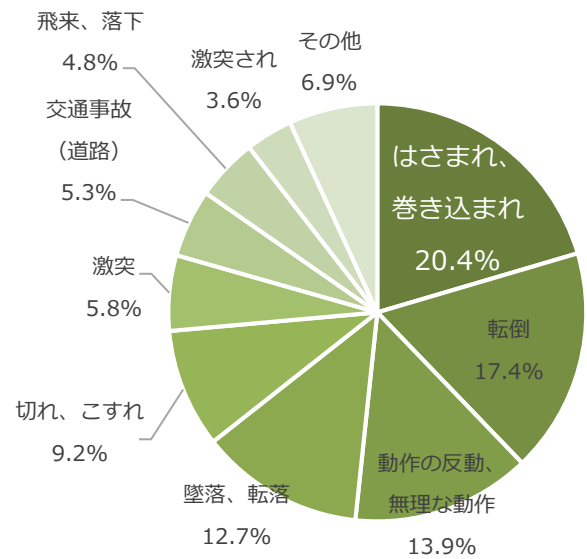


図-5 経験年数 1 年以内の事故の型別労働災害
資料:労働者死傷病報告(平成 30 年(平成 31 年 1 月末速報値))

～事業主の皆様へ～

■雇い入れや作業内容を変更し、新たな作業については、労働災害を防止するための**安全衛生教育を必ず実施**しましょう



～労働者の皆様へ～

- 1 雇入れ時等に受けた**安全衛生教育**を確実に守りましょう。
- 2 職場の**整理整頓**を実施しましょう。
- 3 機械のカバーは勝手に外さないこと、また、掃除等の際には機械の停止を必ず確認しましょう。
- 4 保護帽、安全靴などの**安全装備**は正しく着用しましょう。



エイジアクション 100

～ 生涯現役社会の実現につながる高年齢労働者の
安全と健康確保のための職場改善に向けて ～

<概要版>



中央労働災害防止協会

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署